

科目名	医療と文化 Culture & Medicine			担当教員 (研究室番号)		浦野 茂 (503)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	2年次前期	科目区分	教養・基礎科目			選択区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	可
												オープンクラス	可
科目目的	病気と障害の当事者の語りを読み解きながら、病気と障害の経験とその背景にある文化のあり方を理解することがこの科目の目的です。												
ディベックス・ボリナー(DP)	主要なDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)											
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)											
到達目標	病気や障害はともすると個人の身体や心の問題として捉えられがちです。ですがこれらを具体的な社会における生活状況において人びとの持つ経験として捉え直すことにより、病気や障害にかかわる文化と社会の存在に気づき、そのあり方を理解することが、この科目の到達目標です。												
成績評価方法(基準)		授業における発表内容(35%)、各授業における小レポート(30%)、期末レポート(35%)による。											
再試験の有無と基準等		あり。追加レポートによる。											
教科書		なし。											
参考書等		認定NPO法人健康と病の語りディベックス・ジャパン(編)『認知症の語り：本人と家族による200のエピソード』(日本看護協会出版会、2016年)。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待		インターネットに公開されている下記の資料(映像・文章)を授業資料として用います。発表者と履修者は各回とも事前に指定された資料を閲覧したうえで授業に参加してください。 (1) 認定NPO法人 健康と病いの語り ディベックス・ジャパン (https://www.dipex-j.org)。 (2) NPO法人日本臨床研究支援ユニットJPOP委員会 (http://jpop-voice.jp/index.html)。											
備考													
回	学習項目			学習内容							主担当教員	授業方法	
1回	イントロダクション			授業の目的と概要、進め方について説明する。							浦野	講義	
2回	文化とはなにか			文化の概念について説明する。そのうえで、この概念によりながら現代の社会生活の特徴と問題について理解する。							浦野	講義	
3回	病気と文化			「病い」の概念について説明する。そのうえで、この概念によりながら病気をめぐる多様な生活様式・実践とその課題について検討する。							浦野	講義	
4回	病いを語ること			語るという行為の特徴を把握することにより、病気・障害の経験とその理解にとって語ることもつ意義を理解する。							浦野	講義 演習	
5回	乳がんの経験と文化			乳がんの当事者の語りから、乳がんを患う経験とその社会文化的背景を理解する。							浦野	講義 演習	
6回	前立腺がんの経験と文化			前立腺がんの当事者の語りから、前立腺がんを患う経験とその社会文化的背景を理解する。							浦野	講義 演習	
7回	慢性の痛みと文化			慢性痛当事者の語りから、慢性痛の経験とその社会文化的背景について理解する。							浦野	講義 演習	
8回	新型コロナウイルス感染症と文化			新型コロナウイルスに感染した人の語りから、新型コロナウイルスへの感染とそれに伴う様々な社会・文化的な困難を理解する。							浦野	講義 演習	
9回	ディスカッション：障害と文化			「障害(ディスアビリティ)」の概念について説明する。そのうえで、この概念によりながら障害をめぐる多様な生活様式・実践とその課題について検討する。							浦野	講義 演習	
10回	認知症をめぐる経験と文化(1) □			認知症当事者の語りから、認知症をめぐる経験とその社会文化的背景を理解する。□							浦野	講義 演習	
11回	認知症をめぐる経験と文化(2)			認知症の家族介護者の語りから、認知症の介護経験とその社会文化的背景について理解する。							浦野	講義 演習	
12回	統合失調症をめぐる経験と文化			統合失調症当事者の語りから、統合失調症を患う経験とその社会文化的背景について理解する。							浦野	講義 演習	
13回	障害を持ちながら学ぶこと			障害学生の語りから、障害を持ちながら学ぶことと障害学生を支援することがどのようなことか理解する。							浦野	講義 演習	
14回	ディスカッション：合理的配慮について			合理的配慮の概念とその重要性について、その歴史と背景を含めて理解する。							浦野	講義 演習	
15回	まとめ			「病い」と「病いの語り」が現代の保健医療福祉領域においてもつ意義について理解する。							浦野	講義	

学 習 課 題
指定された視聴覚資料の事前視聴（5, 6, 7, 8, 10, 11, 12, 13の各回） 授業内容を踏まえた小レポートの作成・提出（各回の授業後）

実務経験を活かした教育の取組